

男女共同参画社会へ一歩いっぽ近づくための情報誌

Pas ā pas

パザパ

No.4
2005.3



特集

親には

「そのとき」しかできないこと

があります

特集 親には「そのとき」しかできないことがあります

数年前、「育児をしない男を父とは呼ばない」というポスターが話題になりましたが、なかなか広がらない育児休業の取得状況からも、男性の子育てをとりまく環境は依然として厳しいようです。そんなに堅苦しく考えないでください。私たちはただ一緒に分かち合いたいだけなのです。子育ての楽しさを、大変さを、そして感動を、・・・あなたと。

今回の特集テーマでとりあげるのは“男の子育て”。支援者ではなく、当事者として、男性がいかに積極的に参画していきけるか。4人のパイオニアからお話をうかがいました。



最近の新聞記事から

父親の育児休業取得率0.44%

平成15年度厚生労働省「女性雇用管理基本調査」によると、育児休業の取得率は、5人以上の事業所で、女性が73.1%に対し、男性では0.44%という結果。

国の新しい少子化対策計画「子ども子育て応援プラン」では、育児中の男性が育児に費やす時間を現在の48分から2時間程度に伸ばす、育児休業の取得率を男性10%、女性80%に引き上げるなどを10年後の目指すべき社会の姿としている。

かけがえのない感動と発見の日々でした!

日向典弘さん(31歳)

静岡県職員。子どもが1歳から2歳になるまでの1年間育児休業を取得。



育児休業を取得したきっかけは —

娘が生まれたとき夫婦で話し合った結果でした。ふたりとも制度を利用して、娘と一緒にいたいという気持ちがあったので。県の職員は3年間まで育児休業を取れますが、給付金の支給があるのは最初の1年だけであとの2年はありません。それは知っていましたが、でも、片方は働いて一人分の収入はあるわけだし、やっていけないわけじゃない。娘の幼少期はたった1回だけ、しかもほんの短い期間ですから、どちらを選ぶかといったら娘のためにも休暇を取る方にしようということになりました。それで、最初の1年は妻が、1歳から2歳になるまで自分が育児休業を取りました。

休業中の生活はいかがでしたか —

最初はとまどうこともたくさんありましたよ。小さな子どもを連れているのは女性ばかりですからね。特に大きな公園では、顔見知りができるわけもなく、人の視線も気になったり…。



でも子どもが大きくなって近所の小さな公園に行くようになると、自然と親同士の知り合いができるんです。子ども同士がまず仲良しになりますから。他のお母さんに「こんなときどうするの?」なんて自分からもいろいろ聞いたりして。

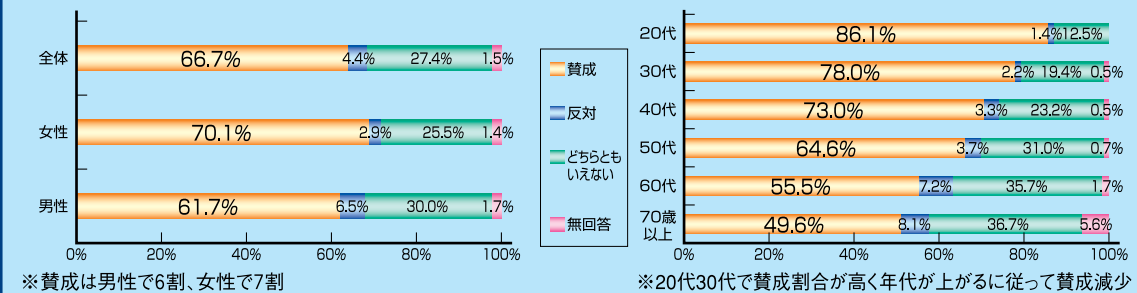
子どもって一日、一日やるのが違います。このあいだまでできなかったことができるようになったり、小さい変化も大きな変化もリアルタイムで見ることができるんです。子どもといっしょに成長していることを実感できますね。

育児休業を取ったことについて今どう考えていますか —

育児休業を取ってほんとうによかったです。もちろん自分と同年代でも、男が育児休業なんて…と思っている人もいます。でも僕にはこれが自然なスタイルだったんですよ。男だからとか、女だからとかは別に関係ないじゃないですか。どっちが仕事してどっちが家事やるとか、いちいち決めなくてもいいですよ。

ただ、最近ちょっと悔しいのは、自分の育休が終わってからふたりとも働きながら同じくらい育児に関わっているのに、子どもはなぜか妻の方になついているんですよ。これってなんか不公平じゃないですか。だからがんばってお父さんしているんです。きっともう一人、子どもが生まれても、多分、同じように育休を取ると思いますよ。

男性の育児・介護休暇取得をどう思いますか? (平成16年 静岡州市民意識調査から)



できるほうが できる事をやろうよ!

さくら い ひろ ゆき
桜井裕之さん(34歳)

3人の男児の出産時、産休を取得し出産に立ち合う。市内企業勤務。



産休を取得したきっかけは

私の職場では妻の出産時に4日間まで産休を取得できる制度があります。所属している部署(班)では、ほとんどの人が利用していましたので、「当然のこと」という感じでした。長男の時はちょうどお盆休暇中のお産でしたが、二男・三男の時に3~4日取得しました。もし、産休制度がなくても有給休暇を使ったと思います。

産休中の生活は

夫婦で話し合い、3人とも立ち合い出産でした。その日から休暇がスタート。両親と同居しているので家事は母にお願いして、私は育児全般を受け持ちました。二男の時は、長男が風邪で熱を出していましたので、病院に連れて行ったり、夜通し看病したり、間をぬって産院に着替えを届けたり…。三男の時は、長男の幼稚園の送り迎えや二男の育児、子どもと一緒に産院へのお見舞いなどをしました。私にとって産休は、家族と一緒に時間を共有でき、妻も安心できた様なのでとても良かったと思います。

現状はまだまだ男性の産休・育休が浸透していませんが、どう感じますか

私の職場はとても恵まれていると思います。産休制度が普及していない職場があるのはとても「不思議」な気がします。もっと社会全体に浸透してくれたら良いですね。

ますみさん(妻)の感想は

産休を取ってくれてとても良かったです。義母に全部お願いしてしまうのも負担が大きいですし、子ども達の精神面でも、祖父母と父親にたっぷり甘えることが出来てとても良かったと思います。夫がいてくれたおかげで、私の精神的負担も全くなく安心して産院に居られました。帰宅後もとても楽でした。

夫は、現在も自然に育児をしていますね。「できるほうができることをやろう!」というスタンスなので、その都度フォローし合ってます。夫から子どもの話を聞くこともあり、上手く情報交換ができていてとても良い関係だと思います。子どもの行事にはできる限り顔を出し、学校や園のプリントにもほとんど目を通しています。

ファミリーフレンドリー企業

社員が仕事と育児・介護を両立できるよう、様々な支援制度を設けている企業。

- <主な制度>
- ①育児休業(一年以上~)・介護休業(分割取得可)等
 - ②育児、介護のための短時間勤務・フレックスタイム制・子どもの看護休暇等
 - ③事業所内託児施設・育児、介護サービス利用料の援助措置等

男女ともにこれら制度を利用しやすい職場環境であること。経営者、管理職の理解があること。

※厚生労働省では平成11年度より、積極的に取組み成果のあがっている企業等の表彰を行っている。県内企業ではこれまでに、厚生労働大臣表彰をローランド(株)、(株)増進会が、静岡県労働局長賞を静岡日本電気(株)、ヤマハ発動機(株)が受賞。

育児も家事も仕事も 大切な私の一部

エリック・レンハートさん(42歳)

心理療法士。ニューヨーク在住の頃、9・11テロの後、心の専門家として被災者のカウンセリングにあたった。家族は妻の麗子さん、娘の果無マリーちゃん(3歳半)。



現在の生活について教えてください

妻と2人、静岡市内で心理療法のオフィスを開業しています。今はまだ言葉の問題もあり、私の日本語はとてもゆっくりなので(笑)、妻の方がたくさん仕事をしています。

私が80%くらい家事をしていますね。朝起きて朝食を作り、娘を保育園に連れて行きます。お迎えも私が行きます。妻は夜もカウンセリングで忙しいことが多いので、私が子どもの面倒をみています。お風呂と一緒に入り、絵本を読んで寝かしつけて…。今は果無マリーの喜びが私の喜びです。彼女が成長していく様子を見るのが本当に楽しい。

麗子さん、アメリカ男性の育児参加の様子は

アメリカといっても広いので一概には言えないのですが、私が知っている限りでは夫婦共働きのケースが多いですね。女性が働くことが当たり前の社会なので、結婚して子どもを産み、その後仕事に復帰します。

子どもが生まれた直後は妻が家にいることが

多いですが、数ヶ月後から2人とも同じように働くので、家事も育児も一緒にやるんじゃないかしら。

私が出産したとき、エリックはpaternity leave(父親の育児休暇)を2週間とりました。私たちの周りでは夫が休暇を取る人が結構いましたよ。

エリックさん、日本では妻の出産時に休暇を取る人はまだあまりいないのですが…

オー、10ヶ月も待ってやっと会えた赤ちゃんに恋に落ちる素晴らしい期間なのに、その時期になぜ一緒にいたくないのか分からない。自分の生活を大事にして、楽しい時間が持てないのなら仕事をしている意味がない。

自分たちがどう生きたいかによって、生活を柔軟に変えていってもいいと思います。仕事も家庭も分かれているものではなく、全部まとめて一つなので。もちろんこれからもどんなに忙しくても、子どもと一緒に過ごす時間をとっていくつもりです。

男性と家事・育児に関するホームページ紹介

いくじれん <http://www.eqg.org/>



「男も女も育児時間を認めて」と会社に要求していこうという趣旨で発足した組織で『男も女も育児時間を!連絡会』が正式な名称です。男とか女とかに限定しないで、それぞれの親が育児にかかわる時間をどうやって確保するのかを考えていく場です。新聞連載「育休父さんの成長日誌」の転載、パパの育児休業・育児時間掲示板、「男は忙しいから家事できない?—男性の家事育児を考えるアンケート調査」の報告など、盛りだくさん。

※このほかインターネットでは、「専業主夫」「兼業主夫」「子育て奮闘中の父親」「お父さんのための」などをキーワードとしたブログが数多く公開されています。興味のある方はのぞいてみてはいかがでしょうか。

オムツをひとりで取り替えて自信!

かわくち しょういち

河口正一さん(64歳)

妻の敬子さんとともに、静岡市ファミリーサポートセンター(通称:ファミサポ)“まかせて会員”として活躍中。



活動を始めた動機は

定年退職後、社会貢献をしようと考えました。妻の友達からファミサポの講習会を紹介してもらい、夫婦2人で受け会員登録をしました。ちょうど息子の幼稚園の恩師が事務局の担当者だったのも強い後押しになりました。

活動を通して感じたことは

現在は自宅で、週5日女の子を、週末に姉弟を2時間ほど預かっています。公園へ行ったり、折り紙、お絵かきで遊びます。おやつは子どもが持参します。子どもが病気のときは、診療時間外でも当番医を探して連れて行きましたし、仕事を終えて迎えに来るお父さんを、深夜まで一緒に待ったこともありました。

私は、18年間の単身赴任で家事になれていたの、託児は自然に受け入れられました。以前、ウンチをした子どものオムツをひとりで取り替えたときから自信を持ちました。

活動を始めたころ、父子家庭をサポートする機会があり、支援策が遅れていると痛感しました。しわ寄せが子どもにいかないことを願っています。

敬子さん、おふたりで預かるメリットは

夫は体力的に大変なやんちゃな男の子の世話が上手ですね。託児の希望のなかに「食事」が入っているときは、私が支度をし、夫が幼稚園のお迎えをします。

夫は自分の子どもの育児に接することが少なかったため、子育ての大変さが分かり、「さぞかし大変だっただろう」という感謝の気持ちを私に伝えてくれます。

正一さん、メッセージをお願いします

お母さん方には、子どもをファミサポに預けて、2~3時間、自分をリフレッシュしてみることをお勧めします。また、年金生活者の方、元気なうちは私たちのように社会参加してみることを提案します。子どもたちを世話することは楽しく、将来きっと立派な社会の一員になっていくと思うと励みになりますよ。



まかせて会員とは?



ファミリーサポートセンターでは、子育ての手助けをしたい人と受けたい人がお互いに会員になって助け合います。子どもを自宅で預かることができる人が“まかせて会員”の登録をし、保育園・幼稚園の送り迎えや、放課後などに子どもを預かります。会員には研修や保険制度があるので安心して活動でき、また、子どものあそびや講演会などを通じて会員同士の交流を図っています。

【ただ今、まかせて会員募集中です!】

・静岡市ファミリーサポートセンター本部 TEL.054-254-2283 呉服町札の辻ビル4階
・清水支部 TEL.0543-55-3333 清水テルサ1階

育児休業の独自制度

群馬県太田市では、男性職員を対象に、有給の育児特別休暇を取得できる新制度を平成17年3月以降スタートする予定。新制度では子どもが1歳になるまでの間、1ヶ月につき連続1週間の特別休暇を6回取得できるとしている。男性の育児休業を促進し、仕事と子育ての両立を支援する方針。

全国的に男性の育児休業が進んでいないなか、職場で休暇を取りやすくするよう改善し、波及効果を狙っている。

パパクオータ制度

ノルウェーでは、子どもが1歳に達するまでの間に、父親に4週間の育児休業を与えることを義務化している。

手当ての支給もあり、期間も分割して使える。父親が制度を利用しないと、その分の支給がなくなるので、1994年に4割だった取得率はその後増え続け、2002年には9割まで大幅に上昇し普及した。

この制度に理解を示した職場や上司の協力があり育児に参加できたと考える男性は多いと言われている。

次世代育成支援対策行動計画

平成17年4月に全面施行される次世代育成支援対策促進法では、官民あげて仕事と子育てを両立し少子化に歯止めをかけることを目的として、地方公共団体及び企業に対し、行動計画の策定及び届け出を義務づけている。(従業員300人以下は努力義務) 計画に盛り込む内容は①妊娠中や出産後の配慮②父親の休暇取得促進③代替要員の確保④短時間勤務やフレックスタイムの実施⑤事業所内託児施設の設置などへの取組み。

ささやかでも子どもたちと共有できる体験を



静岡市男女共同参画審議会 副会長 鍋倉伸子

事例を見て確実に時代は変わっていると感じました。自然な形で出産や子育てに関わり、それを続ける日向さんや桜井さんのような男性がいること、またそのことに前ほど皆が驚かないということだと思っています。統計でも男性の育児・介護休暇取得に賛成の人は20代、30代では80%です。(3ページ)

事例のような子育てをいいなあとと思う人は多いですが、実際に自分が実行できる人はまだまだ少数です。公務員、産休制度を取り入れた企業の社員、時間に余裕のある職業の人などでないと難しいということが事例からも分かります。エリックさんのお話の、生きることの中に仕事と家庭がひとつのものとしてあるという考え方は、まだ私たちにはなじみが薄く、厳しい経済状況の中で人員を切り詰めて生き残りを図る企業で遅くまで働く男性、また女性が、生活の質を落としている現実との落差を感じます。(1日の家事時間 11ページ)

また、単親世帯が増えているのも事実です。それが母親、父親どちらであつても経済活動も子育ても一人でやらなければなりません。ファミリーサポートセンターの役割の大切さがあらためて理解できます。よそのお子さんを預かっている河口さんご夫妻の「定年退職後の社会貢献」という言葉が心に残りました。「ウンチのオムツの取り替えて自信をもった」という実感のこもったお話を、昔、夫がたまにオムツを替えてもウンチの時は必ず私を呼んだことを思い出しました。

今求められているのは、一人ひとりがささやかでも子どもたちと共有できる体験を大事にすること、社会全体で子どもたちを、親たちをサポートすることだと思っています。

No.4 起業・SOHO通信

電子カルテシステムコンサルティング

有限会社 メグデザイン研究所

起業者のための
インキュベーション施設「清水産業・情報プラザ」への入居(2年半)を経て、
“巣立ち”の時を迎えた「有限会社メグデザイン研究所」中村恵美社長にお話をうかがいました。
【平成17年3月より清水銀座(戸田書店隣)へ移転】

起業のきっかけはわたしの恋

3年前まで私は普通の建設会社で働いていましたが、その時に知り合った彼氏が医療専門職ということもあり、デートを繰り返す中でまったくの素人だった私に、少しずつ医療や医療情報、電子カルテシステムといった専門的な話をしてくれるようになりました。

そこで、これからの時代は病院の電子カルテ化が急激に普及し、患者は何処にいても自分の病歴を知り、今まで開示されなかったカルテも患者に開示される時代になると聞かされました。そして、そうした電子カルテを病院や患者の立場に立って提供する業者がいないと知らされました。

彼はそうした仕事を自分ができないかと考えていたようで、私もそうした夢に共感し、協力することとなりました。今、その彼は私の夫になっています……

日本一安価で使いやすい電子カルテを

当時、病院における電子カルテシステムに、国が補助金を出して普及を図ろうとしていました。大学病院など大きい病院は大メーカーと組んで、1床あたり250~300万円という高額な費用で導入を図っていました。多くの中小病院は価格が高く二の足を踏んでいた時代でした。

そこで新しく会社を設立し、病院の電子カルテシステムの価格破壊を行い、中小病院でも十分導入可能な1床あたり30万円の低価格電子カルテシステムの開発を進めてきました。

今はすでに補助金も出なくなり、他のメーカーの電子カルテがあまりにも高額であることから、昨年末から営業活動をしなくても口コミや、インターネットだけで多くの引き合いが入るようになってきました。それがあまりにも多いため、開発に追われる日々が続いています。



プロはプロの仕事をしていきたい

病院というのは一般の企業と異なり、生命を預かる仕事であり、医師をはじめ、看護師、栄養士、検査技師、薬剤師など各部署のメンバーは、ほとんどが国家資格を持つプロの集団でもあります。

そうしたプロの集まりが利用する電子カルテシステムを導入普及させるためには、患者や、病院の職員の立場に立って、プロの仕事をしなければならないと思っています。そのためにはいい人材を集め、最新の医療知識について勉強を重ね、プロの会社として実績を重ねていくことが重要だと考えています。

欲を出さず発展する会社を目指す

当社が起業するにあたって一番大切にしている原則は「欲をかかない」ということです。企業ですから利益、利潤を求めるのは当然なことですが、あまりに欲を出して、儲けのことばかり考えて事業化しようとは考えていません。

日本で最初に他の資金を用いて、取引をするという会社(カンパニー)を始めたのは、かの坂本龍馬であると聞いています。彼が作った亀山社中が日本のベンチャー企業の先駆けであったとすると、龍馬は自分の欲のために会社を作ったのでしょうか?そうではないと思っています。欲をかかず、出来る限り顧客の立場に立って仕事をし、それが社会のためになる、そうした仕事、会社でありたいと思っています。

最後になりますが、創業間もない時期に清水産業情報プラザに入居し、起業者のネットワークを築けたこと、スタッフの方に細かい事までお心配り頂いたこと、大変感謝しております。本当にありがとうございました。

有限会社メグデザイン研究所
〒424-0817 静岡県静岡市清水区銀座4-5
TEL 0543-71-0012 FAX 0543-71-0022
<http://www.azupa.com/megu-design/> E-mail:m-design@kib.biglobe.ne.jp

静岡市清水産業・情報プラザ
(9m~17mの創業者育成室32室)
利用時間:月~金9:00~21:00 土・日9:00~17:00
お問合せ:TEL0543-55-5400

シリーズ 元気なグループ紹介

No.4

女性会館では、料理を学ぼうと結成された男性による自主グループ、“アイセルクッキングクラブ” “メンズクッキングクラブ” “男の料理塾”の3つの団体が活発に活動しています。今回は男の料理塾代表の太田均さんにお話をうかがいました。



今月のメニュー

- ◆親子丼
- ◆キャベツのしょうが浸し
- ◆白みそ仕立ての精進汁



発足のきっかけは

平成14年に女性会館で「男の料理コト始め」という講座が企画されました。30人(応募者67人)の参加があり、5月から7月まで5回にわたって料理の基本を学びながら、男女共同参画について理解することが目的でした。

講座終了後、5人位の有志が集まり、料理づくりの楽しさを継続しようと相談しました。会員募集はチラシを作成し、女性会館や公民館に配布をお願いしました。発足当時は、予定人員の半分も満たすことができませんでしたが、ほかの学習団体などからの協力もいただき、現在は30人で活動しています。

メンバーにはどんな方がいらっしゃいますか

年齢は30才代から様々です。リタイヤされている20人ほどのうち6割位の方は何らかの仕事を持っているのではないのでしょうか。また、趣味で園芸を始めた人、農業に取り組んでいる人など様々な活動をされています。

習った料理を次の日に家族に出して好評だったとか、奥さんが留守のとき夕食を作っておいた、買い物で食材選びに細くなったなど、日常生活のなかで男女共同参画が自然な形で進んでいるようです。



活動内容は

毎月第2水曜日の午後6時30分から9時まで、講座でお世話になった静岡栄養士食事研究会の片井裕子さんに指導をお願いして、旬の食材を使った健康食づくりをエコロジーも考えながら楽しんでいます。

勉強会では、毎回、試食の前にミーティングを行っています。余暇の過ごし方や糖尿病の予防、家庭での自立、食事と健康などテーマを設け、会員みんなで話し合う時間を設けています。

これからどうしていきたいですか

家庭での炊事という重要な役割分担ができるよう勉強していきたいです。また市の男女共同参画を推進していく団体として、男性料理グループの先輩団体を見習って継続して活動していきたいと思います。

“男の料理塾”が会員一人ひとりの豊かな生活を送るための場となり、また、会員間の人間関係や地域でのネットワークづくりにも寄与していければと考えています。



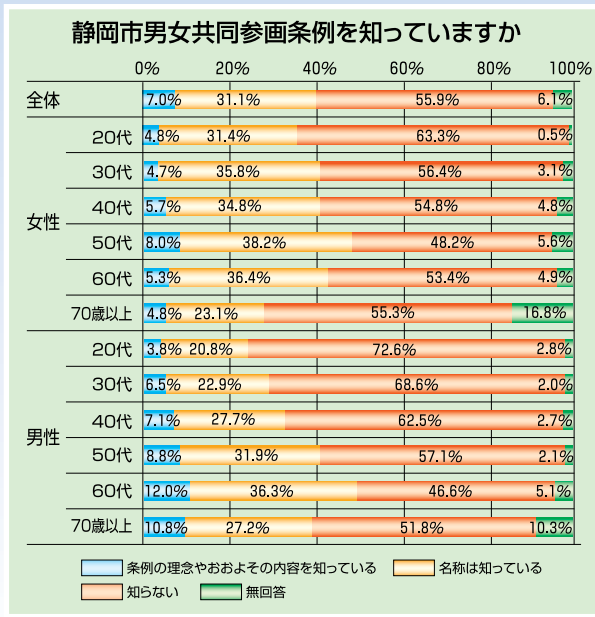
男性の家事時間は0～1時間未満が最多

静岡市では、平成16年度市民意識調査のなかで、「男女共同参画推進条例の認知度」「男女の平等観」「雇用機会均等法の認知度」「男性の育児休暇、介護休暇について」「DVやセクハラを受けたときの相談先の認知度」など9つの設問を盛り込みました。

今回の調査結果から、条例の普及啓発やDVに関する相談先のPR等の重要性を再認識し、平成17年度以降も効果的な事業展開に努めていきます。

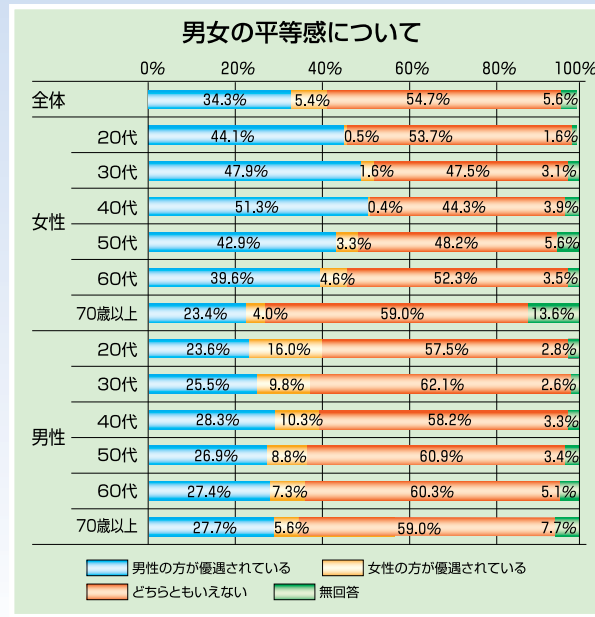
条例の認知度は約4割

全体の約4割が“知っている”という結果で、60代男性と50代女性の認知度が高く、若い世代ほど低くなりました。



30代と40代女性では約半数が男性優遇と感じている

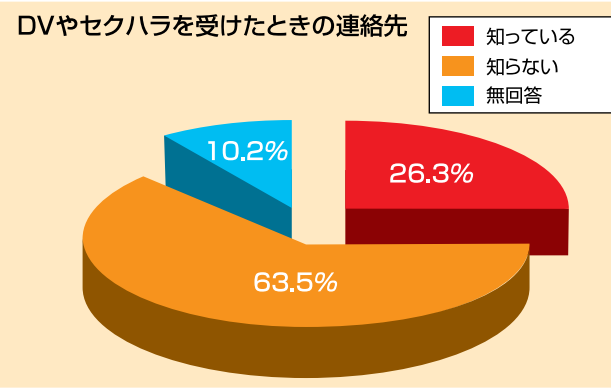
全体で34.3%が“男性が優遇されている”と回答し、“女性が優遇されている”の5.4%を大きく上回りました。特に30代40代の女性では、“男性が優遇されている”が約半数を占めました。



DV・セクハラ相談先について7割近くが“知らない”

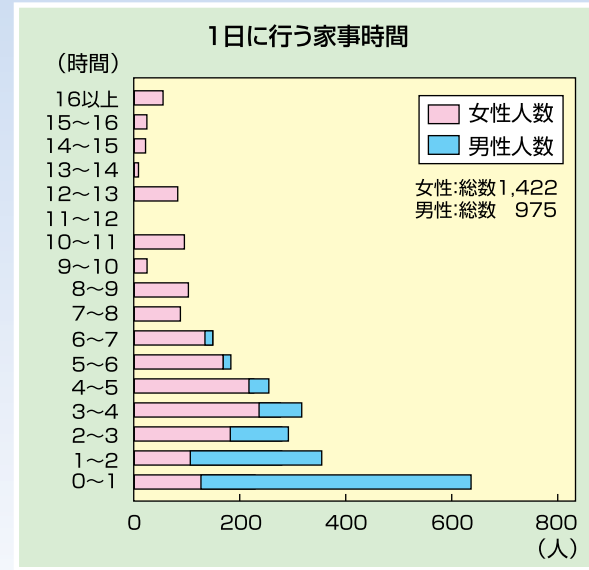
「DVやセクハラ相談先」を知っている市民の割合は3割弱でした。

- ★一般相談窓口
 - 静岡市女性会館相談室 054-248-1234
 - 静岡県男女共同参画センター 054-272-7879
- ★緊急相談窓口
 - 葵区福祉事務所社会福祉課 054-221-1084
 - 駿河区福祉事務所社会福祉課 054-287-8653
 - 清水区福祉事務所社会福祉課 0543-54-2107
 - 静岡市女性相談センター 054-286-9217



男性の家事時間は1時間未満が最も多い

1日に占める男性の家事時間は1時間未満が、女性は3時間から4時間が1番多いという結果でした。



調査の概要・・・
 調査対象:静岡市在住の満20歳以上の男女
 抽出方法:住民基本台帳から等間隔無作為抽出(約1%)
 調査方法:郵便法
 調査期間:平成16年9月1日～9月21日
 発送数:5,647
 有効回収:3,017(53.4%)
 ※市民意識調査において、性別、年齢別未回答のものは、性別、年齢別集計に反映していません。

英国のNPOにおける「男女共同参画意識」

—協働の協定書に表現されている人権感覚—

市民活動と行政の協働において、世界的なモデルとされている英国の「コンパクト」(NPOと行政とが協働に関する原則を、協定書としてまとめたもの)には、その基本理念のなかに、女性問題など高い人権感覚を裏付けることが、じつに明確に記載されています。

以下は、その部分的抜粋です(翻訳・木村幸男)

★NPO・市民活動団体は、サービスのデザインや供給において、その利用者が関与できる道を開き、声なき人々の代弁者として活躍します。

こうした活動により、NPO・市民活動団体は、社会に平等性と多様性を広げていきます。また、貧困を緩和し、生活の質を改善し、社会から疎外された人々の社会参加を助けます。

★NPO・市民活動団体は、人種・年齢・障害の有無・性別・性的指向(訳者注・異性愛・同性愛などを意味します)・宗教にかかわらず、すべての人々への機会均等を広げていくことの重要性を認識しています。

★政策の策定と諮問においては、女性、マイノリティ、社会的に疎外された人々を代表するグループがもつ特別なニーズ・関心・寄与などを積極的に考慮します。

★「コンパクト」に含まれているこれらの原則や約束は、すべてのNPO・市民活動団体に適用されるとはいえ、コミュニティ団体・黒人・マイノリティ民族団体がもつ特有のニーズ・関心、そして寄与には、特別な配慮をする必要があります。

シリーズ 男女共同参画の視点で選ぶ絵本



絵本には人が生きていく上で大切なあらゆることが、最もわかりやすい言葉と絵で描かれています。子どもたちに、夢、安らぎ、勇気を与え、生きる力、世の中を肯定する前向きな考え方をさりげなく示してくれるのが絵本です。

現実の生活で体験できることは限られていますが、絵本の中には、多様な人生のモデルがいっぱいあります。今回は、『父親の子育て参加』というキーワードで選んでみました。絵本の中でも、パートナーといっしょに子育てを楽しんでいる魅力的な父親がたくさんいます。その活躍ぶりをごらんください。



くさ がや けい こ
草谷 桂子
家庭文庫「トモエ文庫」主宰

『ママがおうちにかえってくる!』

トメク・ボガツキ絵 ケイト・バンクス文 木坂 涼訳 講談社 2004年
女性会館図書コーナー、中央、清水中央、南部、藁科、西奈、長田、北部、清水興津図書館所蔵



この絵本の家族は、母親がペットやさんで働き、父親が家事と三人の子どもの育児をしています。ママから「今から帰る」と電話がありました。左の頁には、ママを迎える準備をするパパと子どもたちの様子、右の頁には、賑やかな街の中心から電車に乗り、どしゃぶりの雨の中、足早に家路を急ぐママの様子が時間の経過と共に、対比して描かれています。それにしてもパパと子どもたちの連携プレーのみごとなこと! エプロンをつけて食事のしたくを始めるパパ。散らかったおもちゃを片付け、パパを手伝う子どもたち。それというのも、題名のごとく「ママがおうちにかえってくる!」ことが、とても嬉しいからに違いありません。

飛ばされそうになった傘をしっかりと捕まえている表紙のママは、働くことの大変さを象徴しているようにも感じますが、全員そろって食事をしている団欒の場面に、忙しいママをしっかりサポートする夫や子どもたちの家族の温もりが伝わりほっとします。働く親の帰りを待つ子どもたちの気持ちや、家で待つ子どもを想う親の気持ちは、どこの国もみな同じなのです。

『おとうさんがおとうさんになった日』

長野ヒデ子・作 童心社 2002年
女性会館図書コーナー、中央、清水中央、御幸町、南部、藁科、西奈、長田、北部、清水興津図書館所蔵

妻の出産に立ち会う男性が増えましたが、この絵本のおとうさんもその一人です。三人目の赤ちゃんを自宅出産する家族の様子が、「おねえちゃん」になる「あこちゃん」の目を通して、生き生きとした絵とユーモラスな会話で語られています。

出産により、身をもって「母親」を実感できる女性に比べ、男性は親になる実感を得にくいようです。けれど、このおとうさんのように身重の妻を支え、上の子どもたちのめんどうを見、産気づいた妻にみそ汁をつくり、手を握って励まし、産声をいっしょに聞く体験があれば、名実ともに自然に「おとうさん」になり、父親の自覚も生まれることでしょう!

扉に、自宅出産で休暇をとるために、会社で同僚に挨拶しているおとうさんが描かれています。彼を取り囲む同僚たちは笑顔で、「すごい」「げんきなあかちゃんを」「がんばれ」などおとうさんを励ましています。父親の育児参加も企業の理解と協力があればこそですね。



http://www.city.shizuoka.jp/
e-mail:sankaku@city.shizuoka.jp ●1/24「第4号」のご感想をお寄せください。

発行 / 静岡市総務局企画部男女共同参画課
企画編集 / 市民編集スタッフ 井上知恵美・近藤亜紀子・宮城島真理・望月寿美子
〒420-8602 静岡市葵区追手町5番1号 ☎054-221-1349